



Harashin Narus
Holdings

(財)財務会計基準機構会員

平成22年3月期 第2四半期決算短信

平成21年11月2日

上場取引所 東

上場会社名 原信ナルスホールディングス株式会社
コード番号 8255 URL <http://www.hnhd.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役経営企画統括
四半期報告書提出予定日 平成21年11月12日

(氏名) 原 和彦
(氏名) 山岸 豊後
配当支払開始予定日

TEL 0258-66-6712
平成21年12月14日

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年3月期第2四半期の連結業績(平成21年4月1日～平成21年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年3月期第2四半期	59,330	1.9	1,619	13.1	1,538	12.0	772	33.4
21年3月期第2四半期	58,203	—	1,432	—	1,373	—	579	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年3月期第2四半期	42.90	—
21年3月期第2四半期	32.16	—

(2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	円 銭	百万円	円 銭	%	円 銭	円 銭	
22年3月期第2四半期	51,548	—	22,409	—	43.5	—	1,244.78	
21年3月期	52,051	—	21,744	—	41.8	—	1,207.84	

(参考) 自己資本 22年3月期第2四半期 22,409百万円 21年3月期 21,744百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年3月期	—	10.00	—	12.00	22.00
22年3月期	—	10.00	—	—	—
22年3月期 (予想)	—	—	—	14.00	24.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

当第2四半期末の配当につきましては、本決算短信発表日現在において正式に確定したものではありません。確定次第、後日あらためて公表いたします。

3. 平成22年3月期の連結業績予想(平成21年4月1日～平成22年3月31日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	119,000	2.4	3,600	11.8	3,500	14.6	1,800	69.0	99.98

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 無
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年3月期第2四半期	18,014,239株	21年3月期	18,014,239株
② 期末自己株式数	22年3月期第2四半期	11,438株	21年3月期	11,365株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年3月期第2四半期	18,002,817株	21年3月期第2四半期	18,004,344株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

上記に記載した予想数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の実績等は、業績の変化等により上記数値と異なる場合があります。
業績予想の前提となる条件等については、6ページ【定性情報・財務諸表等】「3. 連結業績予想に関する定性情報」をご覧ください。

【定性的情報・財務諸表等】

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、低迷する状況に対し一部で底打ち感を示す兆しがあるものの、厳しい状況が続いております。また、一般消費者の消費動向は、可処分所得の減少等により、一層厳しい状況にあります。

このような状況において、当第2四半期連結累計期間における当社グループの連結業績は、売上高が593億30百万円（前年同期比1.9%増）、営業利益が16億19百万円（前年同期比13.1%増）、経常利益が15億38百万円（前年同期比12.0%増）、四半期純利益が7億72百万円（前年同期比33.4%増）となりました。この結果、1株当たり四半期純利益は、前年同期に比べ10円74銭増加し、42円90銭となりました。

また、当第2四半期連結会計期間における当社グループの連結業績は、売上高が304億33百万円（前年同期比1.6%増）、営業利益が8億9百万円（前年同期比11.3%増）、経常利益が7億59百万円（前年同期比6.6%増）、四半期純利益が3億86百万円（前年同期比6.4%増）となりました。この結果、1株当たり四半期純利益は、前年同期に比べ1円28銭増加し、21円45銭となりました。

売上高、営業利益につきましては、以下に記載いたします事業の種類別セグメントの業績に係る要因により変動しております。

経常利益につきましては、営業利益の変動要因により増加しております。

また、四半期純利益につきましては、経常利益の増加に加え、特別損失の減少により増加しております。

事業の種類別セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。なお、各セグメントの業績値につきましては、セグメント間の内部取引高を含めて表示しております。

(1) スーパーマーケット事業

(全般)

厳しい経済情勢が長期化している昨今、お客様の慎重な消費行動は一層顕著になっており、お買い上げになる商品のサイズダウン、グレードダウンといった傾向がより強まっております。

また、当第2四半期連結会計期間に入り、お客様の購買動向を示す数値が、従来にも増して如実に下降しております。

このような状況において当社グループは、「すべての判断の基準はお客様」という経営方針に基づき、生活に密着したローカルスーパーマーケットとしての様々な取り組みに努める一方、お客様のご期待に沿える販売政策を実現すべく、あらゆる経費の見直し、削減、適正利用により販売原資の確保を行いました。

(サービス)

お客様に気持ちよくお買い物を楽しんでいただけるように、「基本の徹底」に努め、レジでの袋詰めサービスに代表される当社グループ独自の様々な取り組みを継続しております。

(販売、商品政策)

前四半期に引き続き、「暮らし応援！値下げプライス！！」企画をはじめ、ベーシックアイテムの低価格化を積極的に進めました。また、各地の祭事、お盆、秋彼岸、シルバーウィークなど、時節のテーマに沿ったにぎわいのある売場作りや必要な品揃えを行いました。

天候要因による野菜相場の高騰に対しては、「野菜大放出」と銘打って、ご利用頻度の高い野菜を中心に特売を実施いたしました。

これらの取り組みは、来店客数の増加につながり、お客様のご支持を得られたものと考えております。

また、グループの販売力活用の一環として、特定の商品を選定し、一定期間で日本一の販売数量を達成する取り組みを開始し、一定の成果を上げています。

新型インフルエンザの発生に対しては、以前から社内に定めているBCP（事業継続計画）に基づき、様々な対応を行いました。また、お客様のご要望にお応えできるよう、衛生関連商品の品揃え確保に努力しました。

(出店・閉店等)

出店につきましては、当第2四半期連結会計期間は、該当ありません。なお、前四半期会計期間に出店した、原信村上西店（6月・新潟県村上市・売場面積1,909㎡）は、概ね予定を上回る実績で推移しております。

閉店、改装につきましては、該当ありません。

(業績)

当第2四半期連結累計期間の営業状況を示すと以下のとおりであります。

項目		当第2四半期累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)	前年同期比
店舗数		64店舗	2店舗増
店舗売上高	全店	56,680百万円	102.7%
	既存店	53,967百万円	100.0%
来店客数	全店	3,228万人	103.0%
	既存店	3,066万人	100.3%
買上点数	全店	10.47点	101.4%
客単価	全店	1,756円	99.7%

- (注) 1 店舗売上高及び客単価には、消費税等は含まれておりません。
 2 店舗数は、当四半期連結会計期間末現在の設置店舗数であります。
 3 既存店は、店舗開設より満13ヶ月以上を経過した店舗であります。
 4 買い上げ点数は、お客様一人当たりが一回のご来店でお買い上げになる商品数の平均であります。
 5 客単価は、お客様が一回のお買い物でお買い上げになった金額の平均であります。
 6 前年同期比は、年間各月の比率の平均値であります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は592億26百万円（前年同期比2.9%増）、営業利益は16億90百万円（前年同期比18.2%増）となり増収増益を確保することができました。

また、当第2四半期連結会計期間におけるスーパーマーケット事業の売上高は304億15百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益は9億2百万円（前年同期比33.3%増）となり増収増益を確保することができました。

(2) その他の事業

(業績)

当第2四半期連結累計期間におけるその他の事業の売上高は12億61百万円（前年同期比33.1%減）、営業利益は38百万円（前年同期比41.1%減）となりました。

また、当第2四半期連結会計期間におけるその他の事業の売上高は6億14百万円（前年同期比31.2%減）、営業利益は21百万円（前年同期比60.9%減）となりました。

売上高の減少は、主として、平成21年4月にフードサービス事業を当社グループ外部へ売却した関係によるものであります。

営業利益の減少は、主として、情報処理事業における一部受注の納期がずれ込んだことや、不動産賃貸業における一部テナントの解約、保険事業における保険契約高の減少等によるものであります。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

(1) 財政状態の変動状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ5億2百万円減少し515億48百万円となりました。また、総負債は前連結会計年度末に比べ11億67百万円減少し291億39百万円、純資産は前連結会計年度末に比べ6億64百万円増加し224億9百万円となりました。

各項目別の内容を示すと、次のとおりであります。

(総資産)

流動資産は126億72百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億71百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が1億44百万円、店舗数の増加に伴いたな卸資産が1億77百万円、前連結会計年度末に比べそれぞれ増加したことや、貸出リース物件の増加によりリース投資資産が前連結会計年度末に比べ2億18百万円増加したことによるものであります。この結果、流動資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント増加し24.6%となりました。

固定資産は388億76百万円となり、前連結会計年度末に比べ7億74百万円減少いたしました。その内容は次のとおりであり、この結果、固定資産の構成比は前連結会計年度末に比べ0.8ポイント減少し75.4%となりました。

有形固定資産は、274億87百万円となり前連結会計年度末に比べ4億68百万円減少いたしました。これは主に、減価償却によるものであります。

無形固定資産は、24億82百万円となり前連結会計年度末に比べ2億85百万円減少いたしました。これは主に、リース資産とのれんの償却によるものであります。

投資その他の資産は、89億6百万円となり前連結会計年度末に比べ20百万円減少いたしました。これは主に、繰延税金資産の減少と貸付金の約定に基づく回収によるものであります。

この結果、総資産回転率（年間換算値）は2.3回となり、前年同期と同様の結果になりました。

(総負債)

流動負債は163億24百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億21百万円減少いたしました。これは主に、有利子負債の約定償還により、短期借入金が6億20百万円、1年内償還予定の社債が7億35百万円、1年内返済予定の長期借入金が6億83百万円前連結会計年度末に比べそれぞれ減少したことによるものであります。この結果、流動負債の構成比は前連結会計年度末に比べ2.6ポイント減少し31.7%となりました。

固定負債は128億14百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億53百万円増加いたしました。これは主に、私募債10億円を新たに発行したことにより、社債が前連結会計年度末に比べ6億85百万円増加したことによるものであります。この結果、固定負債の構成比は前連結会計年度末に比べ0.9ポイント増加し24.8%となりました。

(純資産)

株主資本は220億74百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億56百万円増加いたしました。これは主に、剰余金の配当2億16百万円があった一方、四半期純利益7億72百万円の計上により、利益剰余金が前連結会計年度末に比べ5億56百万円増加したことによるものであります。

評価・換算差額等は3億34百万円となり、前連結会計年度末に比べ1億8百万円増加いたしました。これは、保有しているその他有価証券の時価上昇により、その他有価証券評価差額金が1億8百万円増加したことによるものであります。

以上の結果、自己資本比率は前連結会計年度末に比べ1.7ポイント増加し43.5%となり、1株当たり純資産は前連結会計年度末に比べ36円94銭増加し、1,244円78銭となりました。

(2) 連結キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における連結ベースの現金及び現金同等物（以下、「資金」という。）は、前連結会計年度末に比べ1億44百万円増加し、56億70百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況を示すと、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は29億75百万円となり、前年同期に比べ4億81百万円増加（前年同期比19.3%増）いたしました。

これは主に、経常利益の増加によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は6億74百万円となり、前年同期に比べ11億58百万円減少（前年同期比63.2%減）いたしました。

これは主に、設備投資に関して、前年同期においては、上越物流センターの新設によって投資が多額になった一方、当第2四半期累計期間においては新店1店舗への投資であったため、有形固定資産の取得による支出が6億91百万円（前年同期比59.6%減）となったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は21億56百万円（前年同期は、財務活動の結果得られた資金が5億93百万円）となりました。

これは主に、大型の設備投資に係る当面の資金需要が一段落し、資金循環が全体として償還方向に転じたため、長期借入れによる収入が16億2百万円（前年同期比52.4%減）、社債の発行による収入が10億円（前年同期はなし）にとどまり、長期借入金の返済による支出が25億36百万円（前年同期比18.6%増）となったことによるものであります。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

平成21年10月26日付で、平成21年5月7日に公表した連結業績予想を下記のとおり修正しております。

(第2四半期連結会計期間)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	59,500	1,600	1,550	350	19.44
今回発表予想(B)	59,330	1,619	1,538	772	42.90
増減額(B-A)	△170	19	△12	422	
増減率(%)	△0.3	1.2	△0.7	120.6	

(通期)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	119,000	3,600	3,500	1,400	77.77
今回発表予想(B)	119,000	3,600	3,500	1,800	99.98
増減額(B-A)	—	—	—	400	
増減率(%)	—	—	—	28.6	

修正の理由

(第2四半期連結会計期間)

売上高につきましては、昨今の経済情勢に伴い、6月以降若干の失速感が出たため、当初公表値を僅かながら下回りました。

営業利益、経常利益につきましては、様々な販売政策を実現する原資として、経費の削減、適正化に努め、当初公表値とほぼ同額になりました。

四半期純利益につきましては、当初見込んでいた減損損失が発生しなかったため、上方修正いたしました。

(通期)

第2四半期までの実績を加味し、修正を行いました。

4. その他

- (1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）

該当事項はありません。

- (2) 簡便な会計処理及び四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

13ページ【定性的情報・財務諸表等】5【四半期連結財務諸表】(7) 簡便な会計処理に記載のとおりであります。

- (3) 四半期財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

該当事項はありません。

5. 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,672	5,528
売掛金	301	306
リース投資資産	1,443	1,225
有価証券	5	5
商品及び製品	2,356	2,178
仕掛品	4	2
原材料及び貯蔵品	84	86
未収還付法人税等	54	141
繰延税金資産	551	471
その他	2,203	2,458
貸倒引当金	△4	△4
流動資産合計	12,672	12,401
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	10,727	10,742
機械装置及び運搬具（純額）	738	817
土地	12,121	11,652
リース資産（純額）	2,224	2,404
建設仮勘定	175	753
その他（純額）	1,499	1,585
有形固定資産合計	※1 27,487	※1 27,956
無形固定資産		
のれん	557	725
リース資産	661	766
その他	1,263	1,275
無形固定資産合計	2,482	2,767
投資その他の資産		
投資有価証券	1,637	1,462
長期貸付金	590	657
繰延税金資産	729	883
敷金及び保証金	4,817	4,757
その他	1,132	1,166
貸倒引当金	△0	△0
投資その他の資産合計	8,906	8,926
固定資産合計	38,876	39,650
資産合計	51,548	52,051

(単位：百万円)

	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年3月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	7,798	7,108
短期借入金	—	620
1年内償還予定の社債	500	1,235
1年内返済予定の長期借入金	3,909	4,593
リース債務	610	692
未払法人税等	788	729
ポイント引当金	8	9
役員賞与引当金	35	67
賞与引当金	718	635
その他	1,955	2,155
流動負債合計	16,324	17,846
固定負債		
社債	1,000	315
長期借入金	5,886	6,119
リース債務	2,774	3,002
長期預り保証金	2,580	2,457
その他	572	566
固定負債合計	12,814	12,460
負債合計	29,139	30,307
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,159	3,159
資本剰余金	6,405	6,405
利益剰余金	12,519	11,963
自己株式	△10	△10
株主資本合計	22,074	21,518
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	334	225
評価・換算差額等合計	334	225
純資産合計	22,409	21,744
負債純資産合計	51,548	52,051

(2) 【四半期連結損益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
売上高	58,203	59,330
売上原価	42,622	43,691
売上総利益	15,580	15,638
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	9	8
従業員給料	2,208	2,228
雑給	3,687	3,749
役員賞与引当金繰入額	62	35
賞与	164	181
賞与引当金繰入額	706	689
賃借料	171	45
地代家賃	1,364	1,252
減価償却費	837	1,147
のれん償却額	167	167
貸倒引当金繰入額	1	0
その他	4,765	4,513
販売費及び一般管理費合計	14,148	14,018
営業利益	1,432	1,619
営業外収益		
受取利息	33	34
受取配当金	17	16
過年度消費税等	18	—
その他	31	45
営業外収益合計	101	96
営業外費用		
支払利息	90	121
社葬費	52	—
その他	17	55
営業外費用合計	159	177
経常利益	1,373	1,538

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
特別利益		
固定資産売却益	0	2
投資有価証券売却益	—	0
保険差益	※1 333	—
特別利益合計	334	2
特別損失		
固定資産売却損	—	0
固定資産除却損	8	1
固定資産処分損	—	7
投資有価証券売却損	—	0
減損損失	※2 409	—
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	265	—
特別損失合計	683	8
税金等調整前四半期純利益	1,025	1,532
法人税、住民税及び事業税	595	759
法人税等調整額	△152	0
法人税等合計	442	760
少数株主利益	3	—
四半期純利益	579	772

【第2四半期連結会計期間】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結会計期間 (自平成20年7月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自平成21年7月1日 至平成21年9月30日)
売上高	29,962	30,433
売上原価	21,837	22,442
売上総利益	8,124	7,990
販売費及び一般管理費		
ポイント引当金繰入額	9	8
従業員給料	1,114	1,127
雑給	1,884	1,910
役員賞与引当金繰入額	40	17
賞与引当金繰入額	468	455
賃借料	84	29
地代家賃	681	620
減価償却費	450	580
のれん償却額	83	83
貸倒引当金繰入額	1	—
その他	2,578	2,347
販売費及び一般管理費合計	7,396	7,181
営業利益	727	809
営業外収益		
受取利息	18	19
受取配当金	6	2
その他	15	28
営業外収益合計	40	49
営業外費用		
支払利息	47	59
その他	8	39
営業外費用合計	55	99
経常利益	712	759
特別利益		
固定資産売却益	0	0
保険差益	※1 24	—
特別利益合計	24	0
特別損失		
固定資産除却損	7	0
固定資産処分損	—	4
減損損失	※2 3	—
特別損失合計	11	4
税金等調整前四半期純利益	725	755
法人税、住民税及び事業税	98	257
法人税等調整額	261	111
法人税等合計	359	369
少数株主利益	3	—
四半期純利益	363	386

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	1,025	1,532
減価償却費	854	1,165
減損損失	409	—
のれん償却額	167	167
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	△0
ポイント引当金の増減額 (△は減少)	△0	△0
役員賞与引当金の増減額 (△は減少)	△47	△31
賞与引当金の増減額 (△は減少)	66	82
受取利息及び受取配当金	△50	△50
支払利息	90	121
保険差益	△333	—
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	—	△0
固定資産売却損益 (△は益)	△0	△2
固定資産除却損	8	1
棚卸資産会計基準の適用に伴う影響額	265	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△10	4
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△186	△177
仕入債務の増減額 (△は減少)	667	689
未払又は未収消費税等の増減額	△120	118
リース投資資産の増減額 (△は増加)	—	△218
その他	△238	279
小計	2,565	3,682
利息及び配当金の受取額	32	28
保険金の受取額	502	—
利息の支払額	△97	△117
法人税等の支払額	△509	△619
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,494	2,975
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額 (△は増加)	△0	△0
有価証券の取得による支出	△0	△0
有価証券の売却による収入	0	0
有形固定資産の取得による支出	△1,709	△691
有形固定資産の売却による収入	21	52
無形固定資産の取得による支出	△120	△18
無形固定資産の売却による収入	30	18
投資有価証券の取得による支出	△2	—
投資有価証券の売却による収入	0	0
貸付けによる支出	△234	△221
貸付金の回収による収入	175	220
その他	7	△35
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,832	△674

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日 至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	△200	△620
長期借入れによる収入	3,400	1,620
長期借入金の返済による支出	△2,139	△2,536
社債の発行による収入	—	1,000
社債の償還による支出	△180	△1,050
リース債務の返済による支出	—	△354
自己株式の処分による収入	0	0
自己株式の取得による支出	△1	△0
配当金の支払額	△287	△216
財務活動によるキャッシュ・フロー	593	△2,156
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,254	144
現金及び現金同等物の期首残高	5,755	5,526
現金及び現金同等物の四半期末残高	※1 7,010	※1 5,670

(4) 【継続企業の前提に関する注記】

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(5) 【四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更】

	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日 至平成21年9月30日)
1 連結の範囲に関する事項の変更	該当事項はありません。
2 持分法の適用の範囲に関する事項の変更	該当事項はありません。
3 連結子会社の事業年度等に関する事項の変更	該当事項はありません。
4 開示対象特別目的会社に関する事項の変更	該当事項はありません。
5 会計処理基準に関する事項の変更	該当事項はありません。
6 四半期連結キャッシュ・フロー計算書における資金の範囲の変更	該当事項はありません。

(6) 【表示方法の変更】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)及び当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(7) 【簡便な会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(8) 【四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(9) 【会社等の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況等に関する事項で、当該企業集団の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の判断に影響を与えると認められる重要なもの】

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
該当事項はありません。

(10) 【追加情報】

当第2四半期連結累計期間（自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日）

該当事項はありません。

(11) 【注記事項】

(四半期連結貸借対照表関係)

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (平成21年3月31日)
※1 有形固定資産の減価償却累計額	21,231百万円	20,783百万円
2 偶発債務		
(1) 連結子会社以外の会社の金融機関借入金に対して、債務保証を行っております。		
(株) エヌ・シー・ティ	216百万円	239百万円
上越バイオマス循環事業協同組合	2百万円	3百万円
計	219百万円	242百万円

(四半期連結損益計算書関係)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 保険差益	役員保険に関する死亡保険金の受取額と保険積立金の取崩額の差額であります。	
保険金収入	502百万円	
保険積立金取崩額	△168百万円	
差引：保険差益	333百万円	
※2 減損損失	当企業集団は、主としてスーパーマーケット事業を営んでおり、他の資産又は資産グループから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位を考慮し、主として店舗を基本単位として資産のグルーピングを行っております。 当第2四半期連結累計期間においては、収益性が著しく低下した以下の資産グループについて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損額を減損損失409百万円として特別損失に計上いたしました。 ① 資産グループ 原信 中野店 場所 長野県中野市 用途 店舗 種類 建物等 減損損失 建物及び構築物 229百万円 その他 31百万円 計 260百万円	

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
	② その他 用途 店舗他 種類 建物及び土地等 減損損失 建物及び構築物 42百万円 土地 62百万円 その他 44百万円 <hr/> 計 149百万円 なお、上記資産グループの回収可能性は、主として使用価値により測定しており、当該資産グループの継続的使用と使用後の処分によって見込まれる将来キャッシュ・フローを5.37%で現在価値に割り引いて算定しております。	

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
※1 保険差益	役員保険に関する死亡保険金の受取額であります。	
保険金収入	24百万円	
※2 減損損失	当企業集団は、主としてスーパーマーケット事業を営んでおり、他の資産又は資産グループから概ね独立したキャッシュ・フローを生み出す最小単位を考慮し、主として店舗を基本単位として資産のグルーピングを行っております。 当第2四半期連結会計期間においては、収益性が著しく低下した以下の資産グループについて、固定資産の帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減損額を減損損失3百万円として特別損失に計上いたしました。 用途 店舗他 種類 建物等 減損損失 建物及び構築物 0百万円 その他 2百万円 <hr/> 計 3百万円 なお、上記資産グループの回収可能性は、主として使用価値により測定しており、当該資産グループの継続的使用と使用後の処分によって見込まれる将来キャッシュ・フローを5.37%で現在価値に割り引いて算定しております。	

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
※1 現金及び現金同等物の四半期末 残高と四半期連結貸借対照表に掲 記されている科目の金額との関係	(平成20年9月30日)	(平成21年9月30日)
現金及び預金勘定	7,012百万円	5,672百万円
預入期間が3ヶ月を超える定期預金	<u>△2百万円</u>	<u>△2百万円</u>
現金及び現金同等物	7,010百万円	5,670百万円

(株主資本等関係)

項目	当第2四半期連結会計期間末 (平成21年9月30日) 及び 当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)
1 発行済株式に関する事項 株式の種類 株式の総数	(平成21年9月30日) 普通株式 18,014,239株
2 自己株式に関する事項 株式の種類 株式の総数	(平成21年9月30日) 普通株式 11,438株
3 新株予約権及び自己新株予約権 に関する事項	(平成21年9月30日) _____
4 配当に関する事項 (1) 配当金支払額 決議 株式の種類 配当の原資 配当金の総額 1株当たり配当額 基準日 効力発生日	平成21年6月25日 定時株主総会 普通株式 利益剰余金 216百万円 12.00円 平成21年3月31日 平成21年6月26日
(2) 基準日が当連結会計年度の開始 の日から当四半期連結会計期間 末までに属する配当のうち、配 当の効力発生日が当四半期連結 会計期間の末日後となるもの 決議 株式の種類 配当の原資 配当金の総額 1株当たり配当額 基準日 効力発生日	平成21年11月10日(予定) 取締役会 普通株式 利益剰余金 180百万円 10.00円 平成21年9月30日 平成21年12月14日
5 株主資本の金額の著しい変動に 関する事項	_____

(有価証券関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

その他有価証券で時価のあるものについて、事業の運営において重要なものであり、かつ、前連結会計年度の末日に比べて著しい変動が認められるものはありません。

(デリバティブ取引関係)

当第2四半期連結会計期間末(平成21年9月30日)

当社グループはデリバティブ取引を利用していないため、該当事項はありません。

(ストック・オプション等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

当社グループはストック・オプション若しくは自社株式オプションを付与又は自社の株式を交付していないため、該当事項はありません。

(企業結合等関係)

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)

高速印刷(株)(当社の非連結子会社)を承継会社、(株)アイプランニング(当社の非連結子会社)を消滅会社とする吸収合併を行っております。

これは、共通支配下の取引に該当いたしますが、重要性が乏しいため、注記を省略しております。

(セグメント情報)

【事業の種類別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)

(単位 百万円)

	スーパーマーケット事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	29,567	394	29,962	—	29,962
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	12	498	510	(510)	—
計	29,580	892	30,472	(510)	29,962
営業利益	676	54	731	(3)	727

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品等

(1) スーパーマーケット事業 食料品、日用品家庭雑貨、実用衣料品

(2) その他の事業 情報処理、資産賃貸、フードサービス

3 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会平成18年7月5日企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価基準及び評価方法を主として売価還元原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

(単位 百万円)

	スーパーマーケット事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	30,402	30	30,433	—	30,433
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	13	583	597	(597)	—
計	30,415	614	31,030	(597)	30,433
営業利益	902	21	923	(113)	809

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品等

- (1) スーパーマーケット事業 食料品、日用品家庭雑貨、実用衣料品
(2) その他の事業 情報処理、資産賃貸、清掃

前第2四半期連結累計期間(自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)

(単位 百万円)

	スーパーマーケット事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	57,502	700	58,203	—	58,203
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	33	1,185	1,218	(1,218)	—
計	57,536	1,885	59,422	(1,218)	58,203
営業利益	1,430	65	1,495	(62)	1,432

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品等

- (1) スーパーマーケット事業 食料品、日用品家庭雑貨、実用衣料品
(2) その他の事業 情報処理、資産賃貸、フードサービス

3 (四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載のとおり、当第1四半期連結会計期間より「棚卸資産の評価に関する会計基準」(企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号)が適用されたことに伴い、通常の販売目的で保有するたな卸資産の評価基準及び評価方法を主として売価還元原価法(貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法)に変更しております。この変更により、従来と同一の方法によった場合に比べ、スーパーマーケット事業の営業利益は16百万円増加しております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)

(単位 百万円)

	スーパーマーケット事業	その他の事業	計	消去又は全社	連結
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	59,199	130	59,330	—	59,330
(2) セグメント間の内部売上高又は振替高	26	1,130	1,157	(1,157)	—
計	59,226	1,261	60,487	(1,157)	59,330
営業利益	1,690	38	1,728	(108)	1,619

(注) 1 事業区分は、内部管理上採用している区分によっております。

2 各区分の主な商品等

- (1) スーパーマーケット事業 食料品、日用品家庭雑貨、実用衣料品
(2) その他の事業 情報処理、資産賃貸、清掃

【所在地別セグメント情報】

前第2四半期連結会計期間(自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
在外支店及び在外連結子会社がないため、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第2四半期連結会計期間(自平成20年7月1日至平成20年9月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結会計期間(自平成21年7月1日至平成21年9月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

前第2四半期連結累計期間(自平成20年4月1日至平成20年9月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
海外売上高がないため、該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1 1株当たり純資産額

項目	当第2四半期連結会計期間末 (自平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (自平成21年3月31日)
1株当たり純資産額	1,244円78銭	1,207円84銭

(注) 算定上の基礎

項目	当第2四半期連結会計期間末 (自平成21年9月30日)	前連結会計年度末 (自平成21年3月31日)
四半期連結貸借対照表又は連結貸借対照表上の純資産の部の合計額	22,409百万円	21,744百万円
普通株式に係る純資産額	22,409百万円	21,744百万円
差額の主な内訳	—	—
普通株式の発行済株式数	18,014,239株	18,014,239株
普通株式の自己株式数	11,438株	11,365株
1株当たり純資産額の算定に用いられた普通株式の数	18,002,801株	18,002,874株

2 1株当たり四半期純利益金額等

第2四半期連結累計期間

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益	32円16銭	42円90銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	潜在株式が存在しないため、記載しておりません。	潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

(注) 算定上の基礎

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成20年4月1日至平成20年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成21年4月1日至平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益	579百万円	772百万円
普通株式に係る四半期純利益	579百万円	772百万円
普通株主に帰属しない金額の主な内訳	—	—
普通株式の期中平均株式数	18,004,344株	18,002,817株

第2四半期連結会計期間

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
1株当たり四半期純利益	20円17銭	21円45銭
潜在株式調整後1株当たり四半期純利益	潜在株式が存在しないため、記載していません。	潜在株式が存在しないため、記載していません。

(注) 算定上の基礎

項目	前第2四半期連結会計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成20年9月30日)	当第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)
四半期連結損益計算書上の四半期純利益	363百万円	386百万円
普通株式に係る四半期純利益	363百万円	386百万円
普通株主に帰属しない金額の主な内訳	—	—
普通株式の期中平均株式数	18,004,221株	18,002,808株

(重要な後発事象)

当第2四半期連結会計期間(自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)

該当事項はありません。

6. 【参考資料】

(1) 生産、受注及び販売の状況

① 販売実績

(単位 百万円、%)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		前年同期比			
	売上高	構成比	売上高	構成比	金額	比率		
スーパーマーケット事業	生鮮食品	青果	7,221	12.1	7,601	12.6	379	105.3
		精肉	6,357	10.7	6,378	10.5	21	100.3
		水産	5,570	9.4	5,578	9.2	8	100.1
		惣菜	5,425	9.1	5,551	9.2	126	102.3
	計	24,574	41.3	25,109	41.5	535	102.2	
	一般食品	デイリー	10,496	17.7	10,798	17.8	302	102.9
		加工食品	16,248	27.3	16,809	27.8	560	103.5
		インスタアペーカリー	859	1.4	886	1.5	26	103.1
	計	27,604	46.4	28,494	47.1	889	103.2	
	住居	2,828	4.8	2,935	4.8	106	103.8	
	衣料品	134	0.2	128	0.2	△5	95.9	
	その他	6	0.0	13	0.0	7	213.6	
	営業収入	2,354	4.0	2,518	4.2	163	107.0	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	33	0.1	26	0.1	△7	79.0	
計	57,536	96.8	59,226	97.9	1,689	102.9		
その他	外部顧客に対する売上高	700	1.2	130	0.2	△569	18.7	
	セグメント間の内部売上高又は振替高	1,185	2.0	1,130	1.9	△54	95.4	
	計	1,885	3.2	1,261	2.1	△624	66.9	
合計	59,422	100.0	60,487	100.0	1,065	101.8		

② 仕入実績

(単位 百万円、%)

項目	前第2四半期連結累計期間 (自 平成20年4月1日 至 平成20年9月30日)		当第2四半期連結累計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年9月30日)		前年同期比			
	仕入高	構成比	仕入高	構成比	金額	比率		
スーパーマーケット事業	生鮮食品	青果	5,815	13.5	6,075	13.8	259	104.5
		精肉	4,704	10.9	4,737	10.8	32	100.7
		水産	3,984	9.2	4,198	9.5	213	105.4
		惣菜	3,292	7.7	3,407	7.7	114	103.5
	計	17,797	41.3	18,418	41.8	620	103.5	
	一般食品	デイリー	7,936	18.4	8,220	18.6	284	103.6
		加工食品	13,195	30.6	13,693	31.1	497	103.8
		インスタアペーカリー	410	1.0	433	1.0	22	105.6
	計	21,542	50.0	22,346	50.7	804	103.7	
	住居	2,231	5.2	2,322	5.3	91	104.1	
	衣料品	96	0.2	87	0.2	△8	91.1	
	その他	0	0.0	4	0.0	3	473.1	
	リース原価	—	—	68	0.2	68	—	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	242	0.6	110	0.2	△131	45.6	
計	41,910	97.3	43,358	98.4	1,448	103.5		
その他	外部取引先からの仕入高	1,110	2.6	622	1.4	△488	56.0	
	セグメント間の内部仕入高又は振替高	48	0.1	68	0.2	19	141.3	
	計	1,159	2.7	690	1.6	△468	59.5	
合計	43,069	100.0	44,049	100.0	979	102.3		

(注) セグメント間の内部取引高を含めて表示しており、消費税等は含まれておりません。

(2) 最近における四半期(3ヵ月)毎の財務・業績の概況(連結)

(単位 百万円、%)

	第1四半期連結会計期間 (自 平成21年4月1日 至 平成21年6月30日)		第2四半期連結会計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成21年9月30日)	
	金額	百分比	金額	百分比
売上高	28,897	100.0	30,433	100.0
売上原価	21,249	73.5	22,442	73.7
売上総利益	7,647	26.5	7,990	26.3
販売費及び一般管理費	6,837	23.7	7,181	23.6
営業利益	810	2.8	809	2.7
営業外収益	46	0.2	49	0.1
営業外費用	77	0.3	99	0.3
経常利益	779	2.7	759	2.5
特別利益	2	0.0	0	0.0
特別損失	3	0.0	4	0.0
税金等調整前四半期純利益	777	2.7	755	2.5
法人税、住民税及び事業税	502	1.7	257	0.8
法人税等調整額	△110	△0.3	111	0.4
法人税等合計	391	1.4	369	1.2
少数株主利益	—	—	—	—
四半期純利益	386	1.3	386	1.3
総資産	53,012	100.0	51,548	100.0
総負債	31,058	58.6	29,139	56.5
純資産	21,953	41.4	22,409	43.5
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,096		878	
投資活動によるキャッシュ・フロー	△478		△196	
財務活動によるキャッシュ・フロー	△635		△1,521	
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	982		△838	
現金及び現金同等物の四半期首残高	5,526		6,509	
現金及び現金同等物の四半期末残高	6,509		5,670	